

GS ビッグ データ・ ストラテジー (米国小型株)

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

DATA INSIGHT

投資戦略に革新を。

(注)「ビッグデータ・ストラテジー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

Goldman
Sachs

Asset
Management

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

 **中国銀行**

商号等 株式会社中国銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

未来のリーディング・カンパニーとなる可能性のある企業が多く存在する米国小型株式市場。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが長年開発に取り組むビッグデータ / AI を活用した革新的な運用モデルを用いて、数多くの企業の中から将来のスター企業を発掘する。

ビッグデータが注目される今だからこそ —



米国小型株



Goldman
Sachs

Asset
Management

ビッグデータ / AI (人工知能)*

ゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント

GS BIG DATA STRATEGY

〈 GS ビッグデータ・ストラテジー 〉

* 詳細は9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI (人工知能) の活用について」もあわせてご覧ください。

可能性あふれる米国小型株式市場

豊富な投資機会

米国小型株式の銘柄数は、米国大型株式と比べて圧倒的に多く、魅力的な投資機会が多く存在しています。

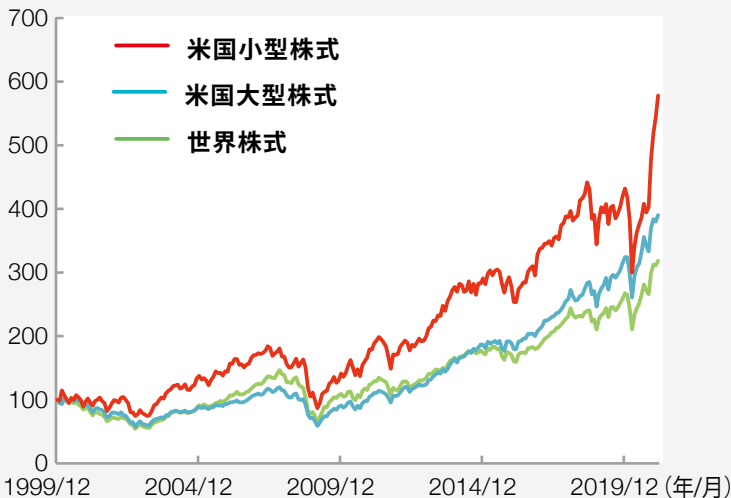
リターンの優位性

長期的に米国小型株式のリターンは世界株式および米国大型株式を上回ってきました。(下図参照)

ビッグデータ/AI分析の効果が発揮されやすい

米国には、小型株式に分類される企業といえども関連するビッグデータは豊富に存在しています。銘柄数が多い小型株式だからこそ、ビッグデータの解析が可能なAIを用いることは有効な投資手法と考えています。

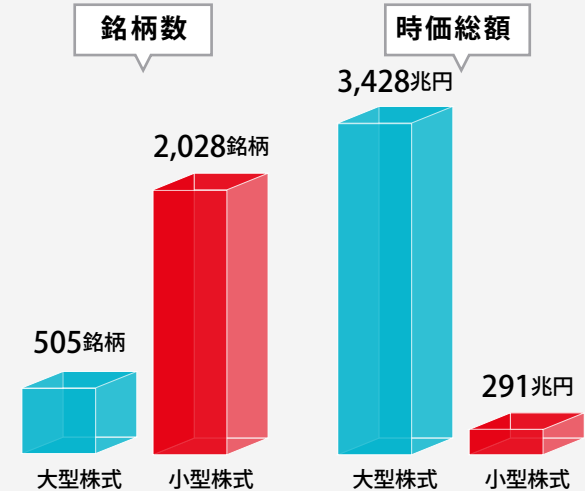
世界株式・米国大型株式・米国小型株式の推移 (米ドル・ベース)



期間：1999年12月末～2021年2月末 1999年12月末を100として指数化
出所：ブルームバーグのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成
世界株式：MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み)
米国大型株式：S&P500 種株価指数 (配当込み)
米国小型株式：ラッセル 2000 インデックス (配当込み)

上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。

米国の大型／小型株式市場の規模別概要



2021年2月現在 1米ドル=106.54円にて円換算
出所：S&P, FTSE Russell
米国大型株式：S&P500 種株価指数
米国小型株式：ラッセル2000インデックス

米国を代表する企業も、最初は小型企業からスタート

- 企業価値を示す時価総額において、業種別のトップ企業を見るとその多くが米国企業であることがわかります。そのような世界のリーディング・カンパニーも最初は小型企業からスタートしています。米国小型株式市場では、次なるリーディング・カンパニーとなる可能性のある優良企業が多数存在しています。

《上場日*の時価総額》

《2021年2月末現在の時価総額》

一般消費財・サービス

アマゾン・ドット・コム

5.6
億米ドル

1兆5,575
億米ドル

情報技術

アップル

15.6
億米ドル

2兆357
億米ドル

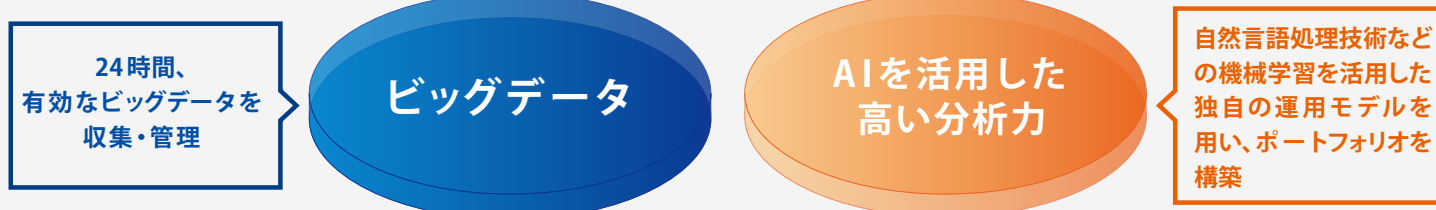
*アマゾン・ドット・コム：1997年5月15日 アップル：1980年12月12日

出所：ブルームバーグ、アップルのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが算出
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

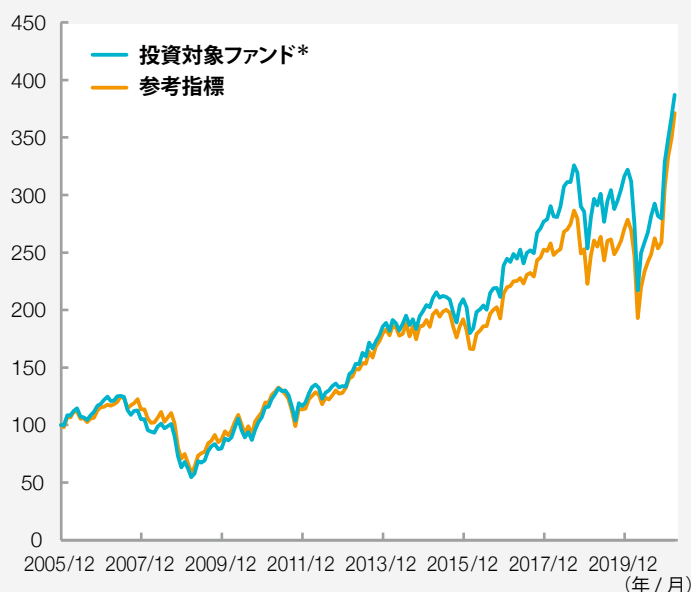
上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものであり本ファンドの投資実績を説明したものではありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。

ビッグデータ／AIを用いた革新的な運用手法により、運用実績の向上を追求する

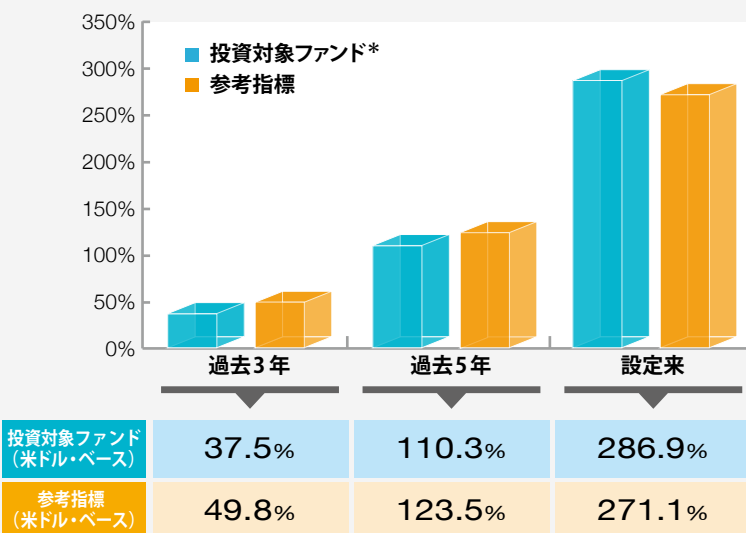
《 GS ビッグデータ・ストラテジーを支えるポイント 》



【ご参考】投資対象ファンド*のパフォーマンス
(米ドル・ベース)



【ご参考】各期間の騰落率
(累積、米ドル・ベース)



期間：(左グラフ) 2005年12月5日(設定日)～2021年2月末、(右グラフ) 2021年2月末現在
 出所：FTSE Russell のデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメン作成 (投資対象ファンドと参考指標は設定日前日を100として指数化)
 参考指標：ラッセル 2000 インデックス (配当込み)

*本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.- ゴールドマン・サックス US スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ」を指します。上記は投資対象ファンドの過去の運用実績(費用控除前)であり、本ファンドの運用実績ではありません。

上記データにおいては、本ファンドの信託報酬等の諸費用は考慮されておらず、また米ドル・ベースのデータを用いて計算しているため、円ベース、円ヘッジ・ベースのデータとは動きが異なります。為替ヘッジを行うコースでは、ヘッジ・コストがかかることにもご注意ください。
 上記は過去のデータであり、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

《 本ファンドの運用モデルに活用しているビッグデータの例 》

<p>35万件以上の 決算発表議事録</p> <p>1件60分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約120年</p>	<p>120万本以上の リサーチ・レポート</p> <p>1本60分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約411年</p>	<p>5,000万件以上の ニュース記事</p> <p>1件5分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約1,427年</p>
--	---	---

2018年12月末現在(上記の数値は過去のレポート等を含みます。) 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメン

本ファンドでは、上記に例示したビッグデータ以外にも、多様なビッグデータを活用しています。
 ※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

本ファンドのビッグデータ／AI活用例

□ 企業ニュース

1 5,000 万件以上のニュース記事から 》 市場心理を分析!

メディアに登場する企業関連ニュースは、個別銘柄への市場心理の変化を刻々と反映しています。自然言語処理技術を利用し個別銘柄への市場心理を測定します。



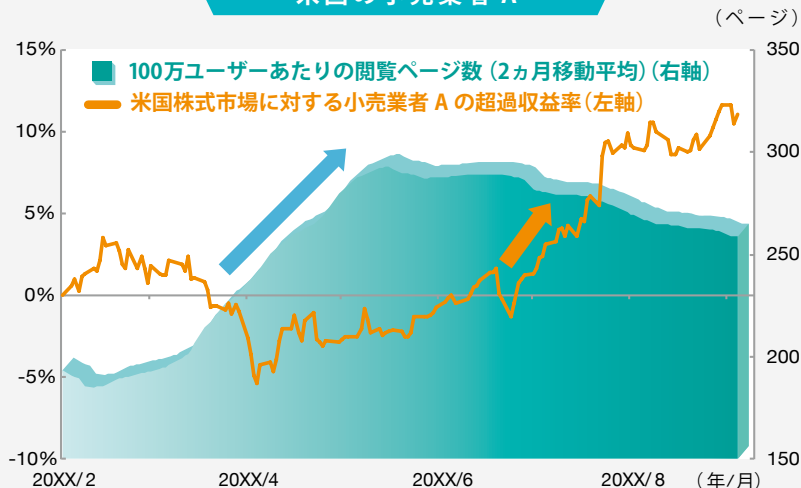
情報を投資判断材料に変換

□ ウェブ・アクセス分析

2 ウェブへのアクセス動向で 》 収益トレンドも予想!

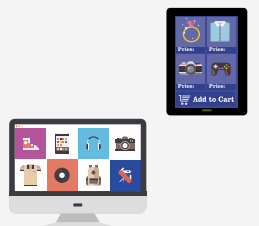
一般消費者向けビジネスを営む企業のウェブサイトへのアクセス動向のトレンドを分析することにより、収益性の予測に活用します。

米国の小売業者 A



小売業などの一般消費者向けに事業を営む企業では、企業ウェブサイトへの閲覧ページ数が増加すると、販売増加に伴い収益性が向上する傾向があります。

ウェブへのアクセス数の変化をいち早く捉えることで、その後の株価トレンドを予測することが可能になります。



出所：アレクサ、ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものです。上記の活用例は今後変更になる場合があります。

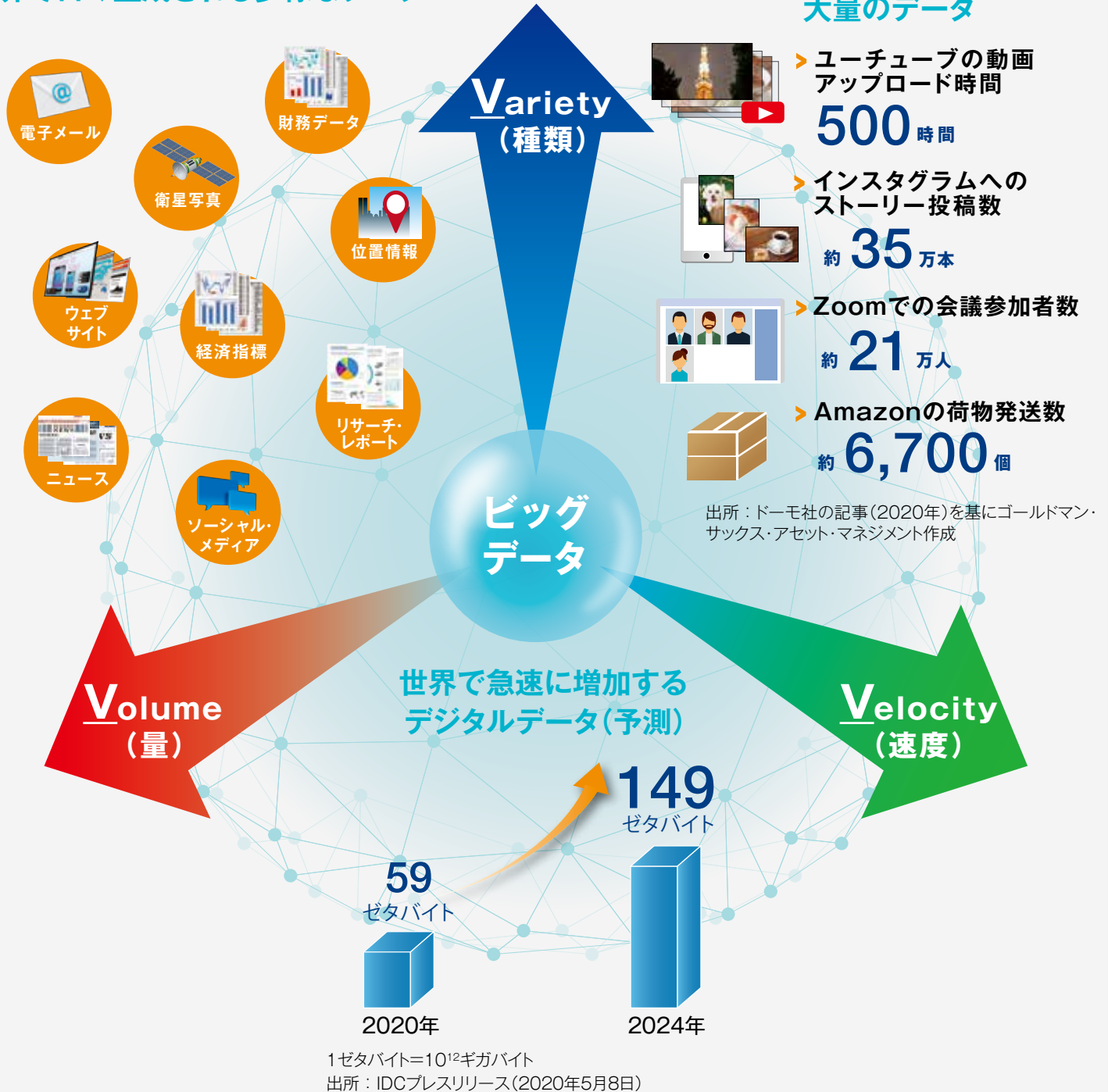
飛躍的に拡大し、増え続けるビッグデータ

現在、生成されるビッグデータは、コンピューターが処理しやすい数値データだけではなく、文章や画像など多様なデータが多くを占めるようになっており、Volume(量)、Velocity(速度)、Variety(種類)の3次的に拡張しています。

ビッグデータは「3つのV」で3次的に拡張

世界で日々生成される多様なデータ

世界で1分間に作り出される大量のデータ



上記はビッグデータやAIについて理解を深めるための一般的な情報提供を目的としており、本ファンドの運用を説明したものではありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

ビッグデータ 時代を加速させる AI

ビッグデータの飛躍的な拡大により、その解析技術としてAIの重要性も高まっています。AIの進化により、これまでのテクノロジーでは解析が難しかった多様なデータを、投資戦略に活用できる時代となりました。

AI(人工知能)とは

- 人工的に、コンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようとする試みや、そのための一連の基礎的な技術のことを指します。
- 人工知能に関連する研究分野には、「機械学習*」や「深層学習*」といった基礎分野と、「画像認識」や「音声認識」、「自然言語処理」といった応用分野があります。

*機械学習とは、データから反復的に学習することで潜在するパターンを発見し、それを新たなデータに当てはめることで、判断や将来の予測を行う技術のことを指します。

深層学習とは、多層構造のニューラルネットワーク(人間の脳の神経回路の仕組みを模したモデル)を用いた機械学習の一種のことを指します。

多様なデータ例①

小売店舗の駐車場の衛星写真

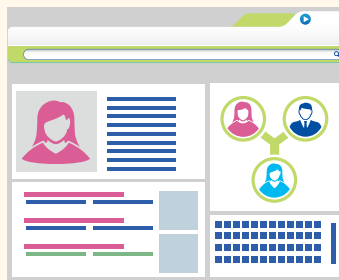
定点観測された駐車場の車の数の変化を追うことで、小売業者の売上高の変化を推測



多様なデータ例②

ソーシャル・メディア

さまざまな情報やニュースが流れるソーシャル・メディアから最新のトレンドを抽出



AIを活用した
自然言語処理により、
文章を読み込む

上記は、例示を目的とするものです。上記写真やイラストはイメージです。

Goldman Sachs Group

Goldman
Sachs

Asset
Management

ゴールドマン・サックス・グループの総合力と革新的な運用ソリューション

Goldman Sachs Asset Management

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

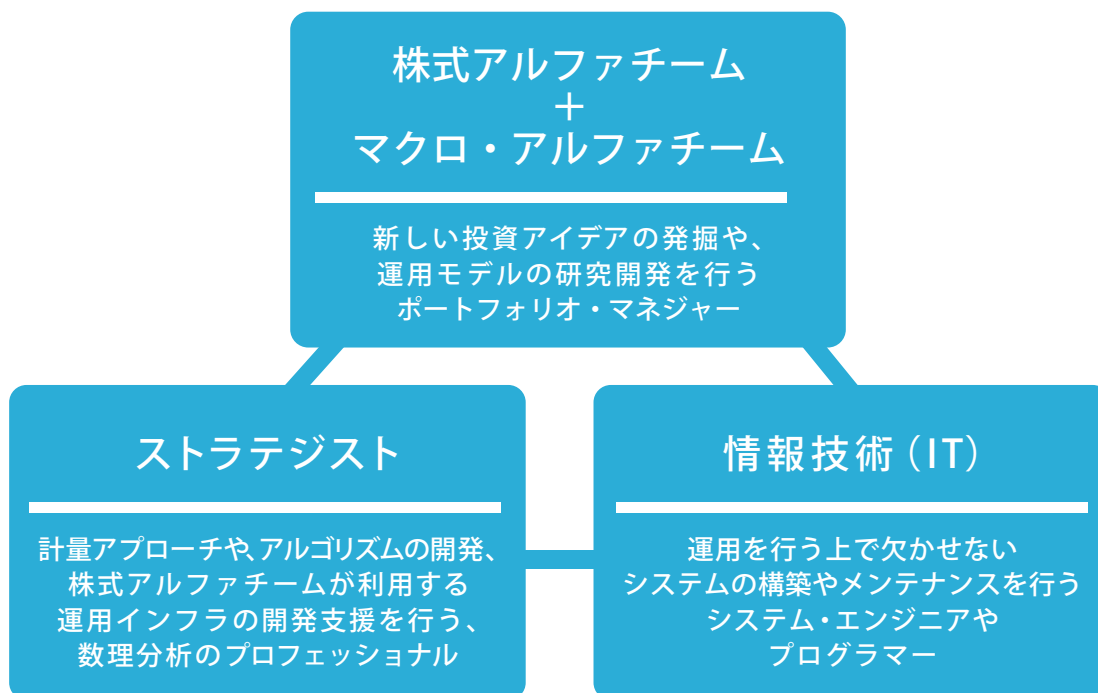
- 1988年の設立以来、世界有数の資産運用会社として、世界の機関投資家、政府系機関、個人投資家向けに約202兆円*の資産を受託
- 約150年の歴史を有するゴールドマン・サックス・グループのノウハウと世界を結ぶグローバル・ネットワークを活用し、お客さまのニーズに対応したサービスを提供
- 世界約40拠点のグローバルな運用体制とリサーチ力

*1 米ドル=103.245円にて円換算 2020年12月末現在

ゴールドマン・サックス ニューヨークオフィス



充実した運用体制



歴史あるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの 計量株式戦略

- 1989年 米国株式で計量株式戦略を開始
- 1995年 GTAA (グローバル・タクティカル・アセット・アロケーション) 戦略を開始
- 1996年 先進国株式の運用開始
- 2006年 新興国株式の運用開始
- 2008年 ビッグデータ/AIを活用した評価基準を運用モデルに導入開始

新しい時代の幕開け

現在

日々ビッグデータ/AIを活用した評価基準を研究・開発・改良し、運用モデルに随時導入

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント「計量投資戦略グループ」とは

約16年

の平均運用経験を持つ

約170名

のプロフェッショナルが

約20兆円

1,958億米ドル、1米ドル=103.245円にて円換算
の資産を運用する組織

ファンドの特色・ファンドの仕組み

POINT 1

米国の小型株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

POINT 2

ビッグデータやAI(人工知能)を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

POINT 3

為替ヘッジありの A コース、為替ヘッジなしの B コースの選択が可能です。

※本ファンドの主要投資対象は米国の小型株式です。運用においてビッグデータやAIなどを利用しますが、ビッグデータやAIなどのテクノロジー関連企業に特化して投資するものではありませんのでご注意ください。

※本ファンドのAコースはラッセル 2000インデックス(配当除く、円ヘッジ・ベース)、Bコースはラッセル 2000インデックス(配当除く、円ベース)を運用上の参考指標とします。

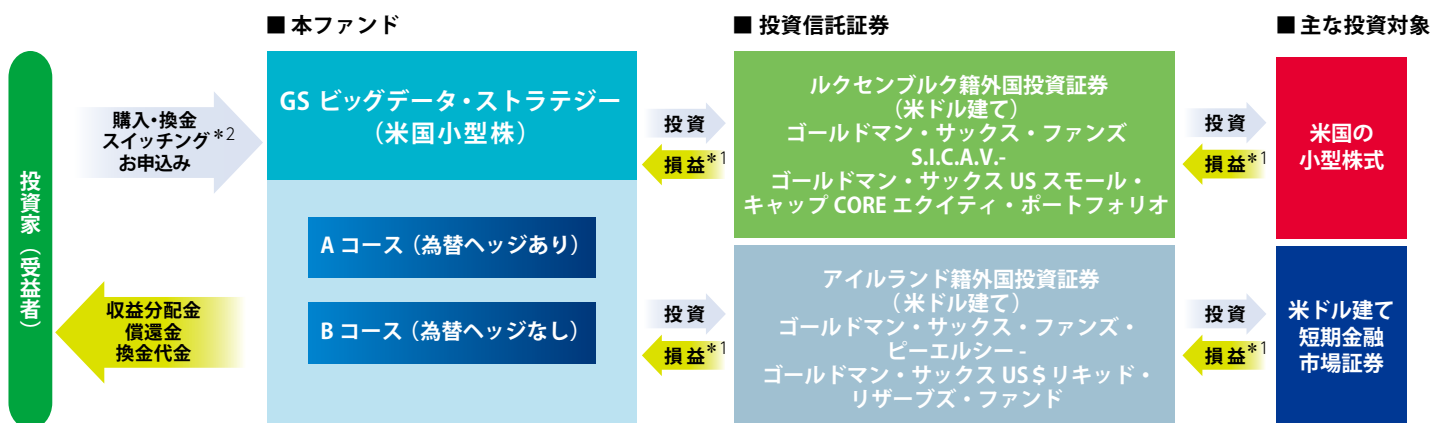
※為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

■ 計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデルでは、投資対象銘柄について、数多くの多面的な評価基準に基づいて評価し、組入銘柄を決定しています。これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブトラフィックなどの非伝統的データも活用されます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントではこれらのデータ(ビッグデータを含みます。)の活用を競争力の源泉とみなしており、近年その利用割合を増やしているだけでなく、そのデータの種類や利用方法も進化しています。機械学習に代表されるAI技術は、一部の評価基準においてデータ分析プロセスで活用され、特にアナリスト・レポートやニュース記事等のテキストデータを読み込む評価基準において活用されます。最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。

《ファンドの仕組み》 本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用にあたってはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



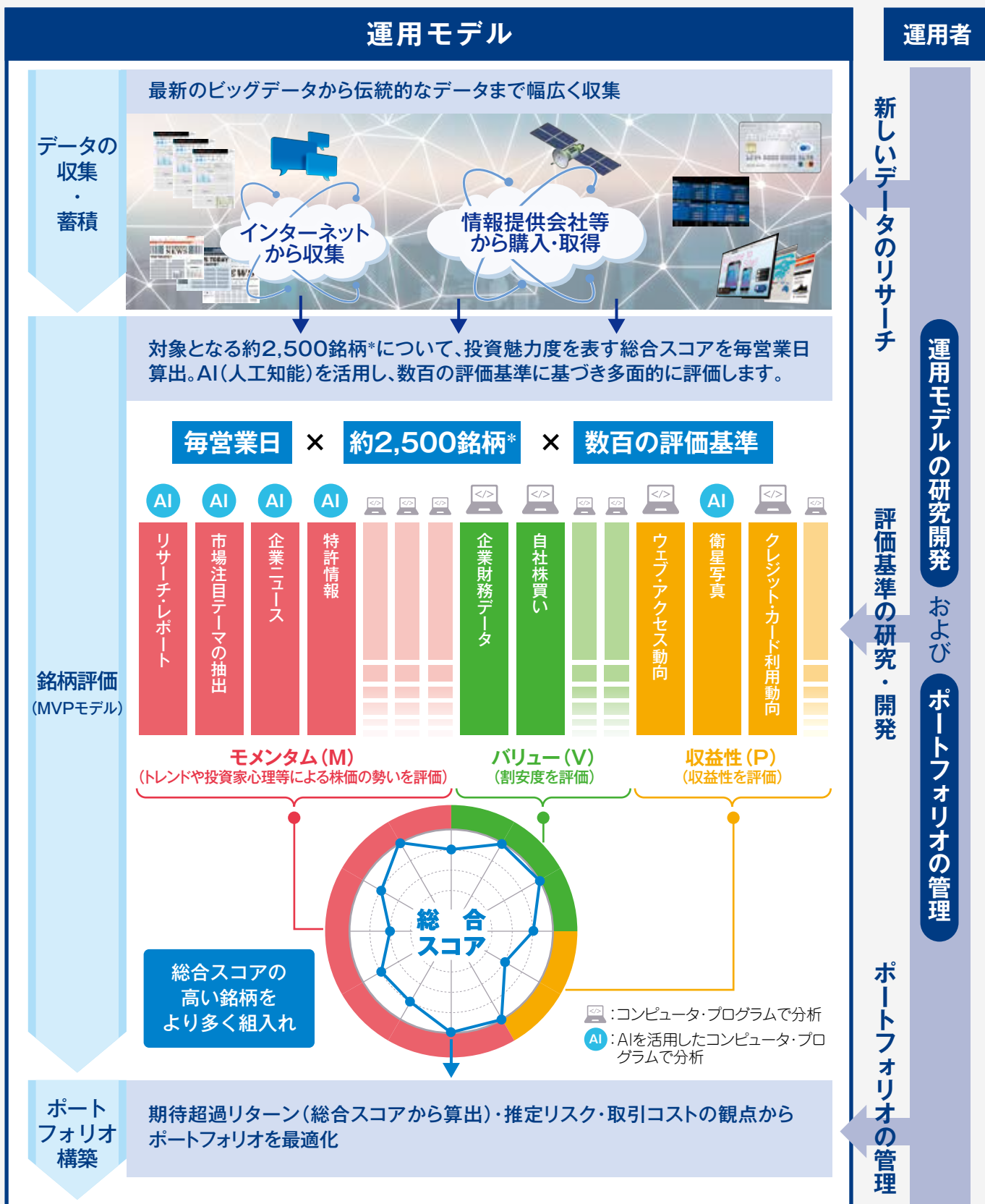
*1 損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

*2 販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。ただし、換金時と同様に税金をご負担いただきます。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

※上記は2021年5月10日現在の組入れ投資信託証券です。投資対象となる投資信託証券は見直されることがあります。この際、上記の投資信託証券が除外されたり、新たな投資信託証券が追加される場合があります。

投資プロセス

最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム(Momentum)・バリュー(Value)・収益性(Profitability)の投資テーマを通じた数百もの評価基準(MVPモデル)に基づき、投資対象候補銘柄すべての投資魅力度を総合的に評価した上で、ポートフォリオの最適化を図ります。



* ラッセル2500インデックス構成銘柄

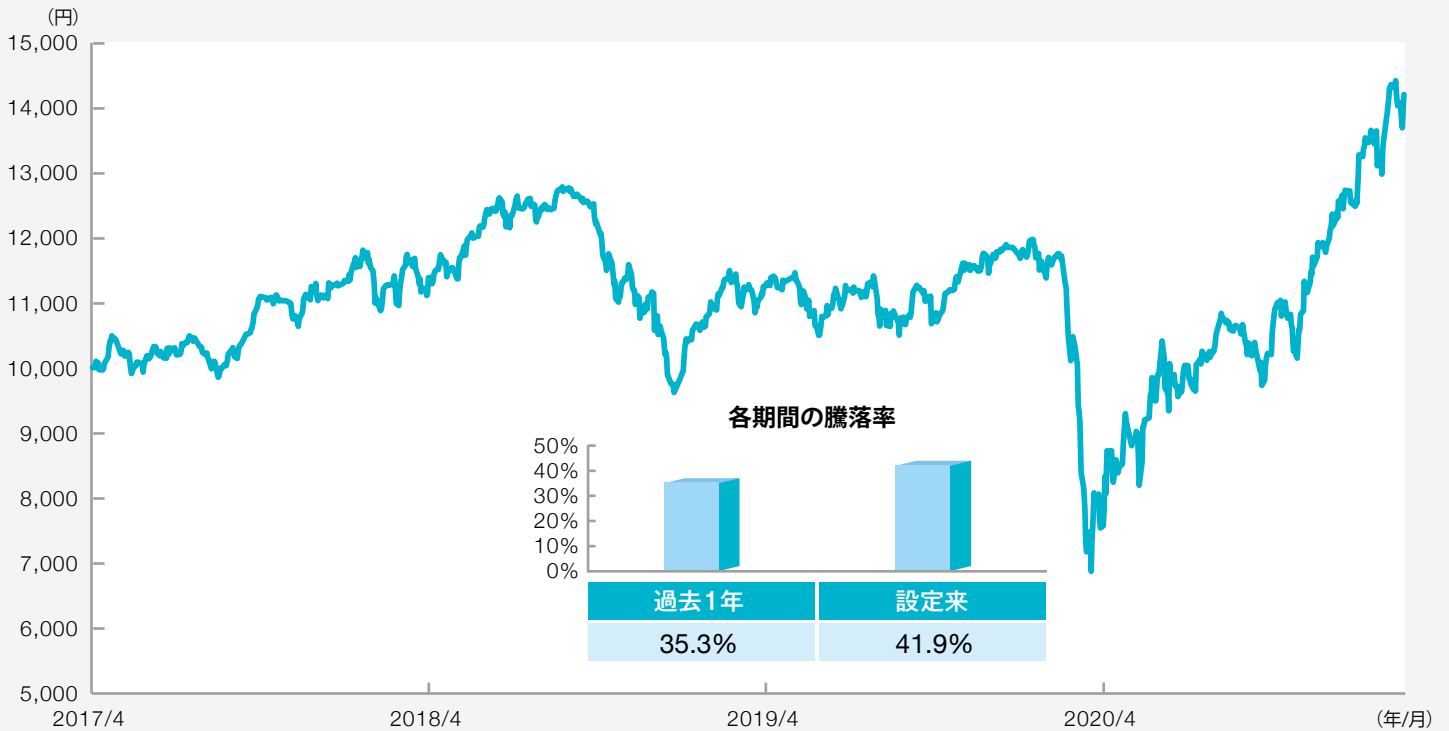
上記は現行モデルに基づくものであり、運用モデルの改良・更新は継続的に行われております。上記の投資プロセスは変更される場合があります。上記がその目的を達成できる保証はありません。上記は概念図であり、実際の評価の割合等とは異なることがあります。上記は本ファンドが主要投資対象とする外国投資証券について説明したものです。

※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

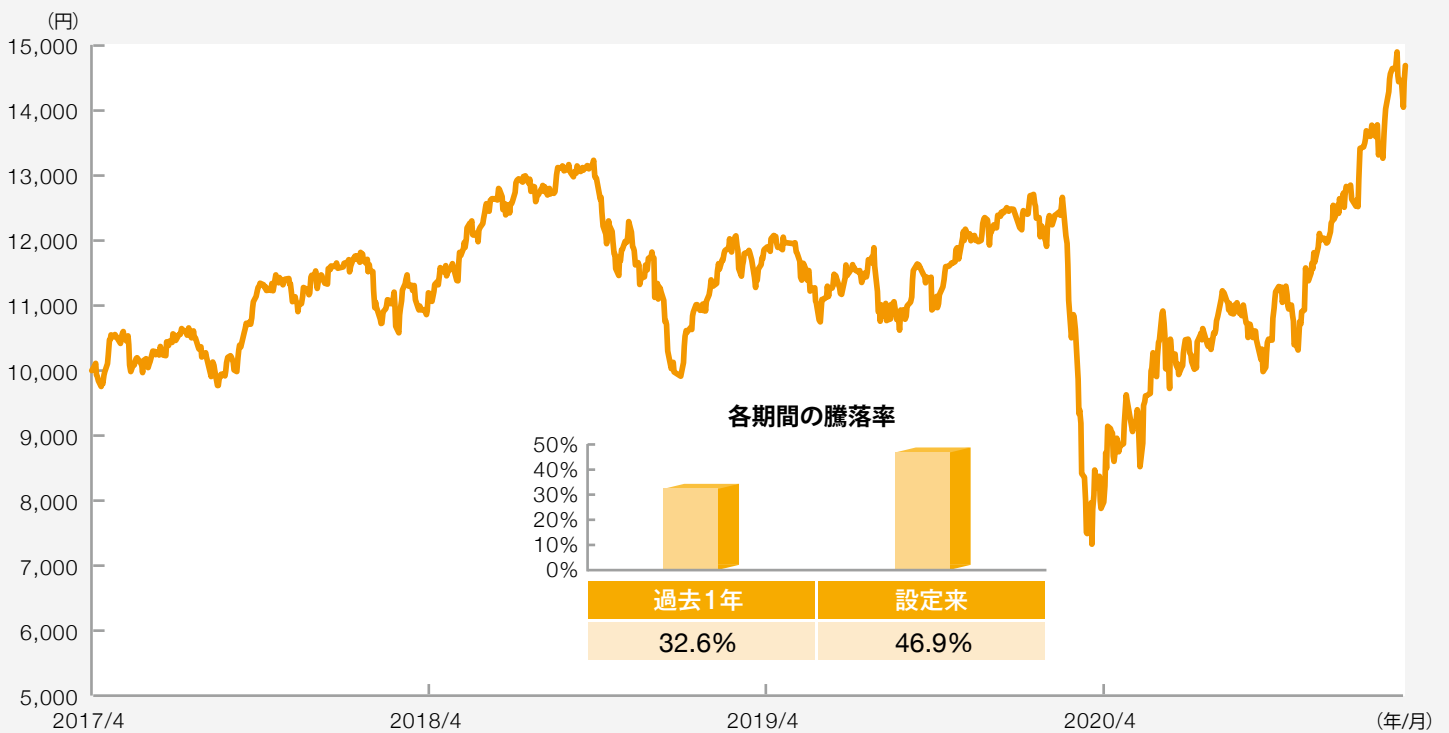
ファンドの運用実績

GSビッグデータ・ストラテジー（米国小型株）は、2017年4月7日に運用を開始しました。

Aコース（為替ヘッジあり）の分配金再投資基準価額の推移



Bコース（為替ヘッジなし）の分配金再投資基準価額の推移



期間：2017年4月7日（設定日）～2021年2月末
出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

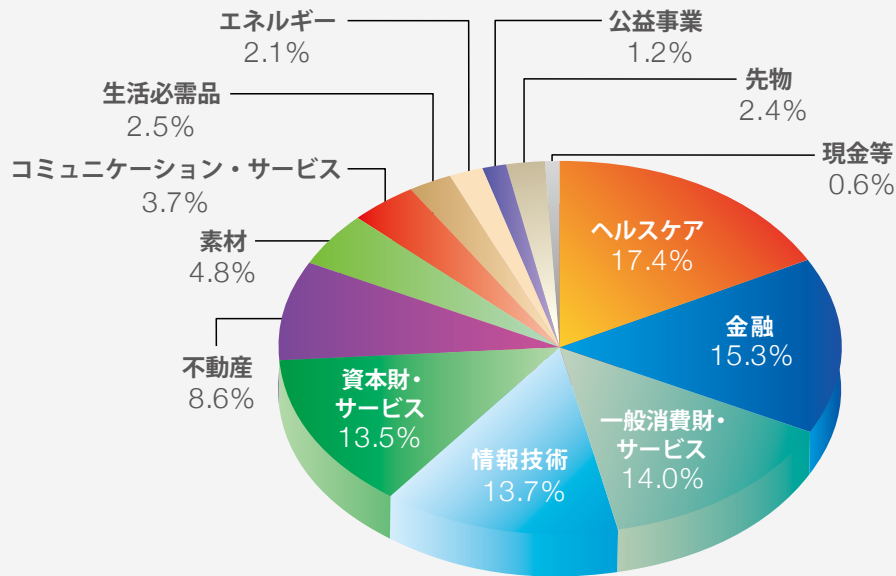
過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

上記の分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金（税引前）で本ファンドを購入（再投資）した場合の基準価額です。

投資対象ファンド*のポートフォリオ概要

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

セクター*別構成比率



*Global Industry Classification Standard (GICS®) (世界産業分類基準)のセクター分類を使用しています。2021年2月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は過去のデータであり、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

MVPモデルに基づき、評価されたポイントを示しています。
M:モメンタム V:バリュー P:収益性

投資対象ファンド*の組入上位10銘柄【合計439銘柄】

銘柄名	セクター	構成比率	M	V	P
1 グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー	一般消費財・サービス	0.9%	●		●
2 ナテラ	ヘルスケア	0.9%	●		
3 テキサス・ロードハウス	一般消費財・サービス	0.9%		●	●
4 レッドフィン	不動産	0.8%	●		
5 バロニス・システムズ	情報技術	0.8%	●	●	●
6 ダーリン・イングレディエーツ	生活必需品	0.8%	●		●
7 レッド・ロック・リゾーツ	一般消費財・サービス	0.8%	●		●
8 インターナショナル・バンクシェアーズ	金融	0.8%	●		●
9 アバクロンビー&フィッチ	一般消費財・サービス	0.8%	●	●	●
10 ルイジアナ・パシフィック	素材	0.7%		●	

2021年2月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記はあくまでも、過去の一時点における組入銘柄であり、将来にわたって引き続き当該銘柄を保有、または保有しないことを保証するものではありません。また、個別銘柄の売却、購入または、継続保有等を推奨するものではありません。

*本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.- ゴールドマン・サックス US スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ」を指します。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

本ファンドは、米国の小型株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に米国の株式市場の下落局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

小型株式への投資リスク

本ファンドの主な投資対象である小型株式は、大型株式と比べて時価総額が小さく、相対的に流動性が低く、ボラティリティ(価格変動性)が高いため、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。また、換金に対応するための十分な資金を準備できないことにより換金のお申し込みを制限することもあります。

このように、本ファンドは、大型株式など流動性の高い銘柄を中心に市場全体に広く分散投資するファンドなどと比較して、相対的に高いリスクを伴いますので、ファンドの性格をよくご理解いただいたうえでご投資ください。

為替変動リスク

本ファンドは、米国の小型株式を投資対象とする外貨建ての投資信託証券を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利が目安となり、円の金利の方が低い場合、この金利差分収益が低下します)。

留意点

計量運用に関する留意点

本ファンドでは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデル群を用いた複数の戦略が実行されます。ビッグデータやAIの利用を含む計量モデルに従う運用がその目的を達成できる保証はなく、ボトムアップ手法によるアクティブ運用やパッシブ運用など他の運用手法に対して優位性を保証するものでもありません。なお、計量モデルにはビッグデータやAI以外の定量要素も利用されます。計量モデルの改良・更新は継続的に行われており、ビッグデータやAIの利用方法については将来変更されることがあります。計量モデルは仮説に基づき構成されたものであり、モデルにより選択された銘柄や市場動向は必ずしもこの仮説が想定する動きを示さない場合があります。また、ある時点でモデルが有効であったとしても、市場環境の変化等により、その有効性が持続しない可能性もあります。このような場合には、本ファンドの基準価額に影響を及ぼし、本ファンドのパフォーマンスが参考指標を下回ったり、投資元金が割り込む可能性があります。

お申込みメモ

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については販売会社にお問い合わせください。

■お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金 申込不可日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日(以下「ファンド休業日」といいます。)
申込締切時間	「ファンド休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
信託期間	2027年8月10日まで(設定日:2017年4月7日) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めた場合は、信託期間を延長することができます。
繰上償還	各ファンドについて純資産総額が30億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には、信託を終了します。
決算日	年2回(毎年2月10日と8月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては、分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
スイッチング	販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に換金されるファンドに対して税金をご負担いただきます。 くわしくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に 3.3% (税抜3%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.5675% (税抜1.425%) ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の 諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随時	その他の費用・ 手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- 委託会社: ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 (信託財産の運用の指図等を行います)
- 受託会社: 三井住友信託銀行株式会社 (信託財産の保管・管理等を行います)
- 販売会社 (本ファンドの販売業務等を行います)
販売会社については、下記の紹介先までお問い合わせください。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
電話: 03-6437-6000 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページ・アドレス: www.gsam.co.jp

※収益分配金に関わる留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。